

第 1197 回放送分『生活習慣病』2 回目

ゲスト：大西浩之ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは「生活習慣病」をテーマにお送りしています。
お話は、鹿児島県医師会 副会長 大西浩之（おおにし ひろゆき）ドクターです。
大西さん、よろしくお願いいたします。

大西浩之Dr.

よろしくお願いいたします。

二見いすず

先週は生活習慣病について、そして高血圧についてもお話しいただきました。
鹿児島の方は高血圧の方が多いので注意が必要とのことでした。
今日は糖尿病についてお話しただけということでしたね。

大西浩之Dr.

はい。

二見いすず

そもそも糖尿病というのはどのような病気なのでしょうか？

大西浩之Dr.

糖尿病とは、インスリンが十分働かないために、血液中を流れるブドウ糖の濃度、
血糖値が慢性的に高くなる病気です。
通常ですと膵臓からインスリンというホルモンが分泌されて、
食事をとっても血糖値はあまり変化しません。
しかし何らかの理由でインスリンが働かなくなると、
血糖が上昇して糖尿病を発症します。

二見いすず

糖尿病になった場合、自分で気づくことのできる症状はありますか？

大西浩之Dr.

糖尿病はかなり血糖値が高くなければ症状が現れません。
高血糖における症状は、喉がよく渴く、水をよく飲む、尿の回数が増える、
体重が減る、疲れやすくなるなどです。
そしてこれよりも怖いのは、こういった症状を見過ごしてしまい、
深刻な合併症を引き起こしてしまうことです。
まずは「し、め、じ」と覚えておくといいでしょう。

二見いすず

「し、め、じ」ですね。それぞれどんな意味があるのでしょうか？

大西浩之Dr.

「し」は神経障害で、手足がしびれたり、さまざまな神経が鈍くなったりします。

「め」は視力が悪くなり、失明につながってしまいます。

「じ」は腎臓の働きが悪くなり、透析を受けることになります。

二見いすず

糖尿病の合併症「し、め、じ」。どれも大変な病気につながるのですね。

大西浩之Dr.

それだけではありません。最近のがんが増えるとされています。

特に膵臓がん、大腸がん、肝臓がんには注意が必要ですので、

糖尿病の方はがん検診も必要だということを覚えておいていただきたいです。

二見いすず

がんが増えるというのは初めて知りました。

そうすると、糖尿病になってしまった場合、

どのような治療法があるのかを知っておきたいですね。

大西浩之Dr.

はい。糖尿病の治療は、食事療法、運動療法、そして薬物療法です。

治療については来週お伝えいたします。

二見いすず

わかりました。

今月は「生活習慣病」についてお送りしております。

お話は、鹿児島県医師会 副会長 大西浩之ドクターでした。

大西さん、ありがとうございました。

大西浩之Dr.

ありがとうございました。